

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

ロータリーで良いことをしよう

高田ロータリー  
今年のスローガン

変化を楽しもう



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

2560地区ガバナー 佐藤 真

高田ロータリー会長 大島 誠

幹事 伴 長門

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員会：

齋藤 尚明・飯塚 宏佳・佐藤 信・齋藤 俊幸

## 第42回例会 6月25日(金)

No.40

### 会長挨拶

### ●大島 誠



皆さん こんにちは。1年間 元気にお過ごし頂けたでしょうか。  
新型コロナウイルスによるパンデミックが世界を襲う中、「変化を楽しもう」の  
テーマの元、高田クラブの皆さんと1年間活動させて頂きました。PET、地  
区協議会はDVD視聴、地区大会はWEBで、またガバナー公式訪問も限られ  
たメンバーとZOOM会議で行われるなど、異例詰くめの1年でした。また、  
例会においても食事が制限され、懇親会が制限され、他クラブとの交流も制限  
されるという、ロータリークラブ活動の根幹を揺るがす様な「交流」に制限の  
かかった1年でした。2560地区内では最終例会さえも十分に開催が出来な  
いクラブも有ると聞いています。そのような環境下でも、高田クラブでは理事  
役員の皆様、そして何よりも会員の皆様のご理解の元 出来る限りの交流が行

われたのではないかと思います。特にSAAの活躍により、毎回の例会会場の開場時間を正午にしていた  
だいたことで、例会時間以外での会員同士の交流が一段と深まったのではないかと感謝しています。

1828年に起こった三条の大地震の際、良寛さんが三条の友人に送ったお見舞いの手紙の中で次の様な事  
を言っています。「災難に逢う時節には災難に逢うがよく候。死ぬ時節には死ぬがよく候。これはこれ災難を  
のがるるの妙法にて候」。

良寛さんの言え、今回の新型コロナウイルスの蔓延も私たち人類にとっては きっと大きな意味がある  
災難なのだろうと思います。日本国内ではワクチン接種が進み、間もなくコロナ以前の生活に戻る日が来る  
と思いますが、これまでの私たちの生活の在り様を反省しながら、日常生活、企業活動 そしてロータリー活  
動を続けて行きましょう。

最後になりますが、改めて会員の皆様と事務局の梅澤さん、例会会場を提供してくださり、また 会場設営や  
WEBの設定、食事の提供方法の変更など、毎回の細かな変更の要望に応じて頂いたデュオ・セレッソのスタ  
ッフの皆様、そして何よりも私を支えてくださった伴幹事に心からの敬意と感謝を申し上げ、最終例会の挨拶  
とさせていただきます。1年間 本当に有難うございました。

## 出席報告

100%

## セレモニー

社会奉仕賞 堀越和宏君  
職業奉仕賞 齋藤俊幸君



## 委員会報告

出席ニコニコBOX員会

会長・幹事：皆様のご支援により、1年間務めることができました。有難うございました。

会長エレクト・次期幹事：コロナ禍でのクラブ運営、大変おつかれさまでした。

堀越和宏君：7月から山形市へ転勤することとなりました。高田ロータリークラブでは2年間楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

箕輪賢一君：「変化を楽しもう」ではありません

が、35年ぶりに教習所に通い、無事に大型免許を取得することができました。

水上喜芳君：20年間有難うございました。

## 会員インフォメーション



水上喜芳君：退会の挨拶



堀越和宏君：退会の挨拶

## 幹事報告

配布物：週報No.39

回覧物：ロータリー日本100年史のお知らせ

報告：国際奉仕会計口座開設について、本日理事会にて承認されました。

## 最終例会

## ～ 大島会長・伴幹事 一年間ごくろうさまでした ～



大島会長挨拶



伴幹事挨拶



ロータリーバッジの引継



花束贈呈



乾杯



記念品贈呈



デュオセレッソンさんから  
花束贈呈